

月別市況

1 月

1月の取扱頭数は、牛10,070頭、豚31,925.5頭で、1日平均取扱頭数は、牛530頭(前月比86.6%)、豚1,680頭(同111.6%)であった。

年末在庫を抱えて荷動き振るわず牛の入荷は減少、豚は順調。

相場は、和牛・乳牛とも前月と比べて大幅に下げた。豚は反落、豚白上物414円(前月比19円安)と下げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,929円、乳牛(B-3)1,126円であった。

輸入牛肉は、取扱量376トン(前月比71.8%)。セリ上場分は5.6トン。相場は弱含み。

3 月

3月の取扱頭数は、牛11,309頭、豚32,297頭で、1日平均取扱頭数は、牛514頭(前月比93.5%)、豚1,468頭(同93.7%)であった。

年度末決算を控えて荷動き悪く、入荷は牛、豚とも低調。

相場は、和牛保合い、乳牛一段安。豚は小幅高、豚白上物449円(前月比9円高)と引き続き上げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,955円、乳牛(B-3)1,072円であった。

輸入牛肉は、取扱量716トン(前月比104.0%)、そのうちセリ取扱量2.1トンであった。相場は弱含み。

5 月

5月の取扱頭数は、牛9,788頭、豚28,839頭、1日平均取扱頭数は、牛515頭(前月比93.0%)、豚1,518頭(同99.2%)であった。

行楽出費等による消費の伸び悩みから、入荷は牛減少、豚は横ばい。

相場は、和牛、乳牛とも大きく下げた。豚はまちまち、豚白上物434円(前月比5円安)とはほぼ保合い。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,861円、乳牛(B-3)1,026円であった。

輸入牛肉は、取扱量237トン(前月比61.6%)、そのうちセリ取扱量4.8トンであった。相場は弱含み。

2 月

2月の取扱頭数は、牛10,444.5頭、豚29,779.5頭で、1日平均取扱頭数は、牛550頭(前月比103.8%)、豚1,567頭(同93.3%)であった。

牛の入荷は順調、豚は雪害の影響から減少。

相場は、和牛はほぼ保合い、乳牛は小幅高。豚は反発、豚白上物440円(前月比26円高)と上げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,908円、乳牛(B-3)1,142円であった。

輸入牛肉は、取扱量646トン(前月比171.8%)。セリ上場分は、0.007トン。相場は弱含み。

4 月

4月の取扱頭数は、牛11,086頭、豚30,616.5頭、1日平均取扱頭数は、牛554頭(前月比107.8%)、豚1,531頭(同104.3%)であった。

年度末決算後の在庫調整明けで、入荷は牛、豚とも順調。

相場は、和牛・乳牛とも保合い。豚は弱含み、豚白上物439円(前月比10円安)とやや下げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,951円、乳牛(B-3)1,087円であった。

輸入牛肉は、取扱量385トン(前月比53.8%)、そのうちセリ取扱量8.0トンであった。相場は弱含み。

6 月

6月の取扱頭数は、牛10,574頭、豚27,802頭、1日平均の取扱頭数は、牛481頭(前月比93.4%)、豚1,264頭(同83.3%)であった。

料理の端境期にあたり、消費の伸び悩みから、入荷は牛、豚とも減少。

相場は、和牛・乳牛とも大きく上げた。豚は弱含み、豚白上物501円(前月比67円高)と上伸した。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,952円、乳牛(B-3)1,067円であった。

輸入牛肉は、取扱量136トン(前月比57.4%)、そのうちセリ取扱量1.9トンであった。相場は小幅安。

7 月

7月の取扱頭数は、牛10,780.5頭、豚27,027.5頭で、1日平均取扱頭数は、牛513頭(前月比106.7%)、豚1,287頭(同101.8%)であった。

記録的な猛暑にもかかわらず、入荷は牛、豚とも順調。

相場は、和牛、乳牛ともほぼ保合い。豚は小幅高、豚白上物519円(前月比18円高)であった。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,885円、乳牛(B-3)1,106円であった。

輸入牛肉は、取扱量243トン(前月比178.7%)、そのうちセリ取扱量2.9トンであった。相場は弱含み。

9 月

9月の取扱頭数は、牛11,052.5頭、豚29,131頭、1日平均取扱頭数は、牛553頭(前月比105.9%)、豚1,457頭(同112.5%)であった。

夏の猛暑も過ぎ需要期に向けて、入荷は牛、豚とも順調。

相場は、和牛は取引規格3以下のクラスが堅調な動きで全体として上げ、乳牛もやや上げた。豚は反落、豚白上物511円(前月比62円安)であった。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,931円、乳牛(B-3)1,237円であった。

輸入牛肉は、取扱量127トン(前月比57.2%)、そのうちセリ取扱量10.4トンであった。相場は弱含み。

11 月

11月の取扱頭数は、牛12,446頭、豚35,285.5頭、1日平均取扱頭数は、牛566頭(前月比98.6%)、豚1,604頭(同99.9%)であった。

年末需要期を前に、入荷は牛、豚とも前月並。

相場は、和牛はやや上げ、乳牛は保合いとなった。豚はまちまち、豚白上物405円(前月比19円高)とやや上げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,948円、乳牛(B-3)1,143円であった。

輸入牛肉は、取扱量62トン(前月比47.3%)、そのうちセリ取扱量13.3トンであった。相場は弱含み。

8 月

8月の取扱頭数は、牛10,952.5頭、豚27,187頭、1日平均取扱頭数は、牛522頭(前月比101.8%)、豚1,295頭(同100.6%)であった。

夏休みとお盆の帰省で需要の減る時期であったが、入荷は牛、豚とも順調。

相場は、和牛は保合い、乳牛はやや上げた。豚は続伸、豚白上物573円(前月比54円高)と上げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)2,007円、乳牛(B-3)1,104円であった。

輸入牛肉は、取扱量222トン(前月比91.4%)、そのうちセリ取扱量1.7トンであった。相場は保合。

10 月

10月の取扱頭数は、牛11,489.5頭、豚32,108頭、1日平均取扱頭数は、牛574頭(前月比103.8%)、豚1,605頭(同110.2%)であった。

秋の消費シーズンに向かい、入荷は牛、豚とも順調。

相場は、和牛、乳牛ともやや下げた。豚は続落、豚白上物386円(前月比125円安)と大幅に値を落した。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)1,822円、乳牛(B-3)1,181円であった。

輸入牛肉は、取扱量131トン(前月比103.1%)、そのうちセリ取扱量0.7トンであった。相場は保合い。

12 月

12月の取扱頭数は、牛14,782.5頭、豚34,215.5頭、1日平均取扱頭数は、牛616頭(前月比108.8%)、豚1,426頭(同88.9%)であった。

年末需要期に入り、入荷は和牛主体に牛順調、豚は減少。

相場は、和牛は上げたが、乳牛は保合いとなった。豚はまちまち、豚白上物415円(前月比10円高)とはほぼ保合い。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛(A-4)2,047円、乳牛(B-3)1,132円であった。

輸入牛肉は、取扱量53トン(前月比85.5%)、そのうちセリ取扱量2.5トンであった。相場は保合。